

V6R (P) : 二方弁 (ねじ込み接続、公称圧力 16 bar) (V12)

このバルブは温水、冷水および空気用の二方制御弁として使用します。

構成は青銅鑄物(RG5)のバルブ本体、シートは青銅、スピンドル(軸)はステンレス鋼、プラグはステンレス鋼または黄銅、金属シール構造、O リングシールを組込んだ黄銅のパッキングボックスからなります。バルブ特性はイコール%又はリニアです。スピンドルを上げた時 A-AB 通路は閉じる構造となっています。

形 番 F3... : イコール%	口 径 DN	Kvs 値 m ³ /h	バルブプラグ 材質	質 量 kg
V6R 15 F350	15	0.4	ステンレス鋼	1.2
V6R 15 F340	15	0.63	ステンレス鋼	1.2
V6R 15 F330	15	1	ステンレス鋼	1.2
V6R 15 F320	15	1.6	ステンレス鋼	1.2
V6R 15 F310	15	2.5	黄銅	1.2
V6R 15 F300	15	4	黄銅	1.2
V6R 25 F310	25	6.3	黄銅	1.6
V6R 25 F300	25	10	黄銅	1.6
V6R 40 F310	40	16	黄銅	3.4
V6R 40 F300	40	25	黄銅	3.4
V6R 50 F300	50	35	黄銅	4.6
許容流体温度 1)	-15...130 °C	バルブストローク		14 mm
許容流体圧力	120 °C 以下 16 bar 130 °C 以下 13 bar	外形寸法図		7M100
バルブ特性	イコール%またはリニア	取付説明書		MV505580
レンジアビリティ	50	AVP142 操作器組立		MV 505766
洩れ率	Kvs 値の 0.05 % 以下	AV43 操作器		MV43190
		AV43 組立		MV43.136

別途機種

F2... リニア特性 (ただし DN 15、Kvs 4 m³/h より大きいサイズ)

アクセサリ

0217268... パッキングボックス用ヒータ 15 W; 24 V = /001, 230 V = /004, MV 505498

0360391... ユニオン、ノンアスベストシール付き、2ヶ必要

注文時指定 : DN 15 = /015, DN 25 = /025... DN 50 = /050

0378034 001 パッキングボックス; 合成繊維含潤滑油; max. 130 ° C

空気圧ドライブ AVP142との組合せ

ドライブ (RA)	AVP142 F001			AVP142 F002, F003					
最大許容差圧	≤ 16 bar			≤ 13 bar					
動作時間 2)	10 s			10 s					
バルブ	Δp _{max}	Δp _s		Δp _{max} 3)	Δp _s				
V6R 15	4.0	16.0		4.0	16.0				
V6R 25	4.0	13.6		4.0	16.0				
V6R 40	3.0	3.1		1.0	7.3				
V6R 50	2.0	2.3		0.8	5.5				

バルブとドライブの組合せ形番指定例:

バルブ : 上記バルブ仕様とアクセサリ参照

ドライブ : 別途バルブドライブデータシート参照

組合せ形番例 : V6R 15 F300/AVP142 F001

ΔP_{max} [bar]= : ドライブがバルブを確実に開・閉できるバルブ前後の最大許容差圧

ΔP_s [bar]= : 停電や故障の時、ドライブがバルブを閉めることができるバルブ前後の最大許容差圧

ΔP_{stat} [bar]= : ポンプが停止した時のバルブ背後に掛かる配管内全圧力に相当。これは配管内の液体(静水圧)と圧力タンクの圧力増加、または蒸気圧などが関係します。

1) 0 °C 以下の場合にはパッキングボックス用ヒータを使用(アクセサリ)

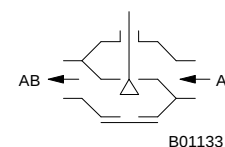
2) 空気容量 400ln/h で配管 ID4mmx 20m の条件として、



T04230

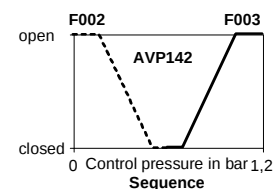
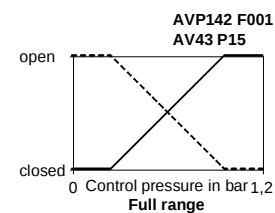


Y07544



B01133

Pressure-stroke-curve
(with integrated valve)

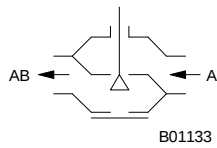


B09804



動作

空気圧式ドライブを使用しバルブはどの位置にも動かすことができます。スピンドルが引き上げられた時は流体圧に抗して流路 A-AB が閉路となります。



装備技術上の注意

制御ユニット(ドライブとバルブ組立)は下に向ける以外は何の姿勢にも取付けることができます(関連ドライブ仕様書を参照)。ドライブをバルブに組立時、プラグを上下両端のシート面で回さないようにして下さい、シールを損傷することがあります。

ドライブに XSP31 または 31G ホンシヨナを取付けると次の様に性能変更ができます: スプリットレンジが可能; 位置設定精度の改善; 動作速度の増加; 動作方向の逆転など。

追加技術データ

形 番	ΔP_v
V6R 15 F. 50	4
V6R 15 F. 40	4
V6R 15 F. 30	4
V6R 15 F. 20	4
V6R 15 F. 10	4
V6R 15 F. 00	4
V6R 25 F. 10	4
V6R 25 F. 00	4
V6R 40 F. 10	3
V6R 40 F. 00	3
V6R 50 F. 00	2

ΔP_v (bar) = バルブプラグの位置やドライブの推力に関係なく騒音や浸食で制限されるバルブ前後の最大差圧

アクセサリの説明

0217268 ... パッキングボックス用ヒータ 15 W; 軽金属ケース; 保護基準 IP54,
接続ケーブル 3 × 0.75 mm², アース線 1m、スリーブ付

構造の補助説明

めねじ加工のバルブ本体で銅パッキンシールとエチレンプロピレンのOリング組込みパッキン ボックス。

DIN 表示の材料記号

	DIN 材料番号	説 明	DIN No.
バルブ本体	2.1096.01	G-Cu Sn 5 Zn Pb (Rg 5)	1705
バルブシール	2.1096.01	G-Cu Sn 5 Zn Pb (Rg 5)	1705
スピンドル(軸)	1.4305	X 12 Cr Ni S 18 8	EN 10088-3
プラグ(栓)	2.0402.26	Cu Zn 40 Pb 2 F43	17 672
プラグ V6R 15 F.20...F.50	1.4305	X 12 Cr Ni S 18 8	EN 10088-3
パッキングボックス	2.0401.10	Cu Zn 39 Pb 3 F36	17 672

記号説明

ΔP_v :

プラグの位置やドライブの力に関係なく騒音や浸食で制限されるバルブ前後の最大許容差圧。

流体中で遮断制御素子としてのバルブは、このパラメータによって明確に定義されます。

流体によって生じるキャビテーション、浸食、騒音を監視することによってバルブの耐久性を改善できます。

ΔP_{max} :

ドライブがバルブを確実に開閉できるバルブの前後の最大許容差圧で、静圧力と流体圧力を考慮します。

この値はストロークをスムーズにまたバルブのシールを維持させるのに役立ちます。

動作中において Δp_v 値は Δp_{max} 値以下のこと。

ΔP_s :

故障などの時、ドライブはバルブを確実に締切ることができ、また必要ならば大気圧に対しての全圧(ゲージ圧)も耐えるバルブ前後の最大許容差圧です。これは速いストローク動作をもつ安全機能ですから、 Δp_s は Δp_{max} や Δp_v より大きな値となります。この動作により起きる流体の乱れは一時的ですぐに元に戻り安定します。3方弁の場合は制御通路(メイン)側にのみ適用します。

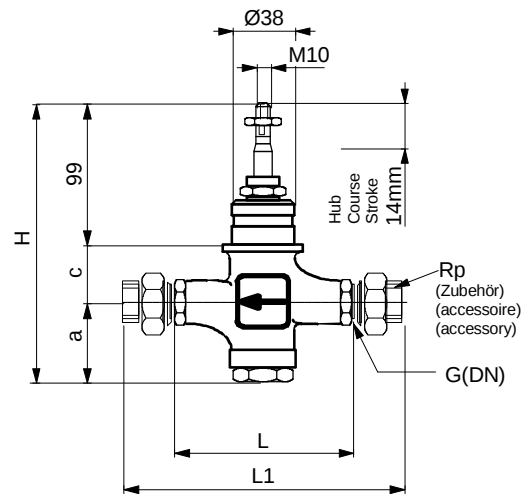
ΔP_{stat} :

ポンプが停止した時のバルブ背後に掛かる配管内全圧力に相当。これは配管内の液体(静水圧)と圧力タンクの圧力増加、または蒸気圧などが関係します。

これらの圧力で閉じるバルブでは、これらの静圧を考慮する必要があります。

外形寸法図 7M100 (第一角法)

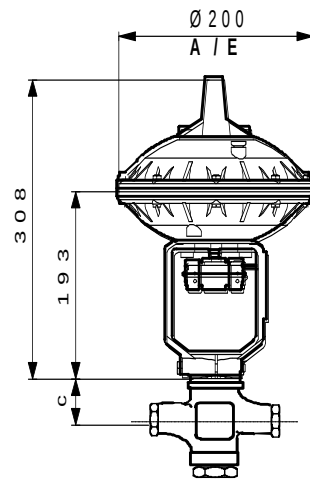
V6R



DN	a	c	H	L	L1	G	Rp
15	1/2"	56	29	184	85	159	1/2
25	1"	59	33	191	110	196	1
40	1 1/2"	76	47	222	150	256	1 1/2
50	2"	98	57	254	180	294	2

M361066a

AVP142



K 09805

E仕様: 圧力なしで「閉」(工場出荷時),
A仕様: 圧力なしで「開」